

日本臨床内分泌病理学会 理事会 議事録

日 時：2019 年 10 月 3 日（木）16：30 ～ 18：00

会 場：プリミバチ（吉祥寺）

出席者：笹野公伸・方波見 卓行・西岡 宏・田辺 晶代・中村 保宏・松野 彰・高野幸路・
菅間 博・柴田洋孝の各理事
井下尚子・佐藤文俊の各幹事・山田正三顧問

欠席者：岡本高広・近藤哲夫・戸田修二・吉本勝彦の各理事・長村 義之顧問

同席者：事務局

議題：

I 評議員会・総会と共通の議題

<評議員会・総会の審議事項>

1. 会則一部改訂の件（理事会承認済事項）
2. 2018 年度決算及び監査報告の件
3. 2019 年度決算見込及び 2020 年度予算の件
4. 次々々期（第 26 回、2022 年度）学術総会会長候補者の件
5. 名誉会員、功労評議員、新評議員推薦の件

<評議員会・総会の報告事項>

6. 2019 年特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の件（春理事会承認済）
7. 第 23 回（2019 年度）学術総会研究賞の件
 - 1) 研究賞選考委員（春理事会承認済）
 - 2) 研究賞受賞者
8. 第 24 回（2020 年度）学術総会の予告

II 理事会のみの議題

<審議事項>

9. 学会 HP の充実化、HP 委員会の設置について

<報告事項>

10. 学会ホームページへのバナー広告掲載状況
11. 第 94 回（2021 年度）JES 学術総会プログラム委員会へ提案する特別演題の募集について
12. 会費長期未納者の取り扱いについて
13. コンサルテーションの現状について

冒頭、笹野理事長より、会則の定足数を満たす理事が出席しているので、本理事会は成立する旨報告があり、引き続き同理事長により議事進行が行われた

1. 会則一部改訂の件

笹野理事長より、理事会で承認された下表の会則について 評議員会・総会に諮ることを確認された。

学術集会における副会長の設置について

改訂（案）	現行
会長） 第27条 会長はその年度の学術集会に関わる任務を遂行する。 2. 会長は本会の運営に必要なプログラム委員会または委員を設置委託することができる。 <u>3. 会長は必要に応じて副会長を選任ことができるが、就任にあたっては会員であることを要する。</u>	会長） 第27条 会長はその年度の学術集会に関わる任務を遂行する。 2. 会長は本会の運営に必要なプログラム委員会または委員を設置委託することができる。

幹事の設置について

改訂（案）	現行
役員） 第11条 本会に次の役員をおく。 1. 理事 10名以上、13名以内（うち、理事長1名） 2. 監事 2名 <u>3. 幹事 若干名</u>	役員） 第11条 本会に次の役員をおく。 1. 理事 10名以上、13名以内（うち、理事長1名） 2. 監事 2名

理事の職務について

改訂（案）	現行
（理事の職務） 第13条 理事長は本会を代表し、会務を統括する。 2. 理事長に事故があるとき、または理事長が欠けたときは、あらかじめ理事長が指名した順序により、理事がその職務を代理し、またその職務を行う。 3. 理事は理事長の業務を補佐し、庶務（庶務担当理事）、財務（財務担当理事）、広報（広報担当理事）、企画学術（企画学術担当理事）など担当理事をおく。 4. 前項の各業務の責任者として、それぞれ筆頭理事を置く。 5. 理事長は必要に応じ、本会の運営に必要な研究賞選考委員会などの諸種委員会の設置および委員の委託を行うことができる。 6. 理事長は必要に応じ、本会の運営に助言する顧問を置くことができる。 7. 理事長は必要に応じ、補佐役として副理	（理事の職務） 第13条 理事長は本会を代表し、会務を統括する。 2. 理事長に事故があるとき、または理事長が欠けたときは、あらかじめ理事長が指名した順序により、理事がその職務を代理し、またその職務を行う。 3. 理事は理事長の業務を補佐し、庶務（庶務担当理事）、財務（財務担当理事）、広報（広報担当理事）、企画学術（企画学術担当理事）など担当理事をおく。 4. 前項の各業務の責任者として、それぞれ筆頭理事を置く。 5. 理事長は必要に応じ、本会の運営に必要な研究賞選考委員会などの諸種委員会の設置および委員の委託を行うことができる。 6. 理事長は必要に応じ、本会の運営に助言する顧問を置くことができる。 7. 理事長は必要に応じ、補佐役として副理

事長を置くことができる。 8. <u>各会務を担当する理事はその会務遂行のため、評議員の中から幹事を任命することができるが、理事会に報告の上、承認を得る。幹事の役割については別途内規で規程する。</u>	事長を置くことができる。
---	---------------------

2. 2018 年度決算及び監査報告の件

吉本財務理事に代わり笹野理事長より、収入の部において、会費の納入率が上がり、予算を9万円上回ったこと、バナー広告が7社より約34万円あったこと、第22回学術総会吉本会長からの学術集会繰入金などにより収入総額は予算額を約47万上回ったことが報告された。

一方、支出の部において、新規事業への補助金が発生しなかったこと、事務局業務の効率化により旅費交通費、通信運搬費が予算を下回ったことから、支出総額は予算額を約36万円下回り、その結果、当期収支差額は黒字決算となり、使途限定金（佐野賞基金・亀谷賞基金・学術集会繰入金収入）を差し引いた2018年度末の純繰越金額は約480万円となったことが報告された。

引き続き、第22回学術総会（吉本会長）の決算の内容が説明された。

次に、佐藤監事より、上記2件について井下監事と監査を行った結果、2018年度決算は適正に執行されているとの監査報告があった。

以上の審議の結果、2018年度決算は全会一致で承認され、明日の評議員会、総会で承認を得る。

3. 2019 年度決算見込及び2020 年度予算の件

吉本理事財務理事に代わり笹野理事長より、2019年度見込に関し、収入の部においては、バナー広告料の納入により当期収入合計が予算を上回ること、支出の部においては、新規事業への補助金が発生せず、当期支出合計は予算を下回ること、その結果、当期収支差額は約13万円の黒字決算なるとの見込みが報告された。使途限定金を差し引いた純繰越金額は前年度より約21万円の増加が見込まれる。

2020年度予算案に関し、収入・支出とも基本的に2019年度予算及び見込を踏襲して予算を計上し、約17万円の黒字予算となることが報告された。

2019年度決算見込及び2020年度予算について審議の結果、これらは全会一致で承認され、明日の評議員会、総会で承認を得る。

4. 次々々期（第26回、2022年度）学術総会会長候補者の件

各理事より候補者の推薦がなかったため、笹野理事長より、西岡 宏理事（虎の門病院 間脳下垂体外科）を推挙したいとの提案があり、西岡理事を全会一致で次々々期会長として評議員会・総会に推薦することが全会一致で承認された。明日の評議員会、総会で承認を得る。

5. 名誉会員、功労評議員、新評議員推薦の件

笹野理事長より、今年度の新名誉会員は該当者なしであることが報告された。

続いて功労評議員について、伊東正博 評議員（長崎医療センター）、岩崎泰正 評議員（高知大学）、岩渕三哉 評議員（新潟大学）を推薦したい旨を提案され、全会一致で承認された。明日の評議員会、総会で承認を得る。

続いて新評議員について、金本巨哲（大阪市立総合医療センター）、菊池元史（自治医科大学）、平野浩一（杏林大学）、福原紀章（虎の門病院）、盛田幸司（帝京大学）の各会員より評議員申請があり、5名全員を評議員へ推薦することが理事会にて承認された。以上、明日の評議員会の議を経て総会の承認を得る。

6. 特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の件

笹野理事長より、下記の各受賞者が報告された。明日の評議員会・総会に報告される。

特別功労賞：杉原 甫(名誉会員)

佐 野 賞：鈴木 貴（東北大学大学院医学系研究科 病理検査学分野）

テーマ：乳癌における性ホルモン作用

亀 谷 賞：梶原 博（東海大学医学部基盤診療学系 病理診断学）

テーマ：Diffuse endocrine systemにおける神経内分泌病変の病態解析

7. 第23回（2019年度）学術総会研究賞の件

菅間会長より、本年5月の理事会で承認された選考委員3名ならびにその委員により選ばれた受賞者について報告があった。明日の評議員会・総会に報告される。

研究賞選考委員：選考委員長：会長 菅間 博

選考委員(順不同)：吉本勝彦理事、佐藤文俊監事、矢澤卓也評議員

最優秀賞：野中敬介（東京都健康長寿医療センター 病理診断科）

テーマ：副腎皮質3層および髄質の加齢性変化に関する検討

奨励賞：永瀬 圭（佐賀大学大学院医学研究科 病因病態科学講座）

テーマ：腎細胞癌における脂肪組織と物理学的微小環境（流体刺激）の役割とその制御機構

廣川達也（杏林大学医学部 病理学教室）

テーマ：甲状腺濾胞性腫瘍における TERT プロモーター領域の点突然変異と rSNP の検討

8. 第24回（2020年度）学術総会の予告

岡本次期会長に代わり笹野理事長より、開催概要が報告された。

テーマ：「患者さんとの対話に活かす内分泌病理学」

日 時：2020年9月25日（金）～26日（土）

会 場：KFC Hall（両国）

国際ファッションセンター（Kokusai Fashion Center）

〒130-0015 東京都墨田区横網 1-6-1

TEL：03-5610-5801

<https://www.tokyo-kfc.co.jp/facility/hall2nd/>

会 長：岡本高宏（東京女子医科大学 乳腺・内分泌・小児外科）
プログラム： 未定

9. 学会 HP の充実化、HP 委員会の設置について

笹野理事長より学会ホームページについて、会員専用ページの作成、過去の抄録集の掲載、Endocrine pathology の購読案内と投稿規定の掲載などの提案があり、新たに設置した HP 委員会の菊地元史委員長とも相談の上、充実化を進めたい旨の報告があった。

10. 学会ホームページへのバナー広告掲載状況

笹野理事長より、エーザイ、JCR ファーマ、中外製薬、帝人ファーマ、ノーベルファーマ、ノバルティスファーマ、ノボノルディスクファーマ、バイエル薬品、富士フィルム和光純薬、ロッシュの 10 社のバナー広告が掲載済みであることが報告された。

11. 第 94 回 JES 学術総会プログラム委員会へ提案する特別演題の募集について

本会代表プログラム委員の岡本高宏企画学術担当理事に代わり笹野理事長より、第 94 回日本内分泌学会学術総会（2021 年 4 月 22 日～2 日 高崎市）の特別演題に関するアンケートについて協力要請をされた。内分泌学会への提出期限は 10 月 16 日まで。

12. 会費長期未納者の取り扱いについて

笹野理事長より、本年度末で 3 年間及び 2 年間の会費未納者（30 名）について、本人、あるいは指導教官を通じて会費納入の働きかけをお願いしたいこと、来年 2 月の会費再々請求を行った後、3 年間未納者は学会会則第 6 条に則り退会扱いとなることが報告された。

13. コンサルテーションの現状について

近藤渉外担当理事（コンサルテーション委員長）に代わり笹野理事長より、今季上半期のコンサルテーション依頼は 4 件であったことが報告された。

以上

（記録：事務局・中江、理事長・副理事長・筆頭理事・会長：校閲済）